

とく の わ 発！ 共に創る地域課題解決推進事業委託業務企画提案評価基準

評価項目（分類）		評価の視点	配点
業務実績報告書		直近5年以内（令和2年4月以降）に、国又は地方公共団体から、本業務の全部又は一部と類似する業務（施設管理、コミュニティ形成、官民協働プロジェクト推進等）を受託し、適切に履行した実績があるか。 ※共同企業体の場合は、各構成員が担う役割（分担業務）に応じた実績を評価対象とする。	10
企画提案書	業務実施方針	「とく の わ」の設置目的（産学官民共創・地域課題解決・DX推進）を深く理解し、施設管理とプロジェクト推進を一体的に遂行するための明確なビジョンと方針が示されているか。	10
	業務実施体制	仕様書に基づき、営業時間内（月～土）において常時2名以上の施設管理者を配置し、安全管理、清掃、設備点検等を確実に遂行できる体制が整っているか。	10
		週4日以上常駐するコミュニティマネージャー等の配置に加え、本社や専門部署等による後方支援体制（オンラインによる専門的助言、欠員時のバックアップ、法務・技術サポート等）が用意され、組織として円滑かつ確実に業務を遂行できる体制となっているか。	10
	企画提案	「とく の わ」における利用受付、料金・会員情報の管理、日々の開閉館業務や清掃・点検について、効率的かつミスのない業務フローやマニュアル整備計画、緊急時対応が具体的に提案されているか。	15
		「とく の わ」利用者への能動的な声かけやマッチング手法、属性やニーズを踏まえたイベント（ミートアップ、ハッカソン等）の年間計画がコミュニティ形成に資する実効性の高い内容となっているか。	15
		地域課題の発掘・公募から、最大5件のWG組成、専門家による助言、実証実験の計画策定・リスク管理、成果報告までの一連のプロセスについて、具体的かつ実現可能な支援手法が提案されているか。	15
		SNS等を活用した戦略的な広報により、「とく の わ」の認知度向上と官民協働プロジェクト成果の普及展開を図る具体的な方策が示されているか。	15
		仕様書の要件に加え、事業の付加価値を高めるための独自の工夫や業務効率化・労働生産性向上に資する独自提案が示されているか。	10
プレゼンテーション		提案内容が論理的かつ具体的で分かりやすいか。委員からの質問に対し、現場運営の実務面及びプロジェクト推進の専門面の両観点からの的確に回答できているか。	20
見積書		計算式は次のとおりとする。 価格評価点＝20点×（最低提案見積価格／提案見積価格） ※少数点第1位を四捨五入する。 ※見積上限額（50,000千円）を超えた場合、評価を行わない。	20
合 計			150